

- 性フェロモンで対象害虫の交尾を阻害することで発生を抑制
- 薬剤抵抗性を獲得した対象害虫にも有効
- 有機JASに使用できます

難防除害虫の交信かく乱剤

コナガコン-プラス®

アルミゲルア・ダイアモルア剤

ツインチューブ
製剤



設置圃場



コナガコン-プラス
ツインチューブ製剤(取付け例)

ロープ状
製剤



設置圃場



コナガコン-プラス
ロープ状製剤



コナガ(幼虫)



オオタバコガ(幼虫)



ヨトウガ(幼虫)

交信かく乱用
性フェロモン剤
の詳しい説明は
WEBで



交信かく乱用性フェロモン剤 コナガコン-プラス®

包装形態：
20cm 100本/袋、40袋/箱
50m巻 1巻/袋、15袋/箱

有効成分：
(Z)-9-ヘキサデセナール……………2.0%
(Z)-11-ヘキサデセン-1-オール ……1.0%
(Z)-11-ヘキサデセナール……………48.7%
(Z)-11-ヘキサデセニル=アセタート…39.2%
安定剤等……………9.1%

安全性
人畜毒性：
普通物（毒劇物に該当しないもの）を指している通称

魚毒性：
この登録に係る使用方法では該当がない。

上手な使い方

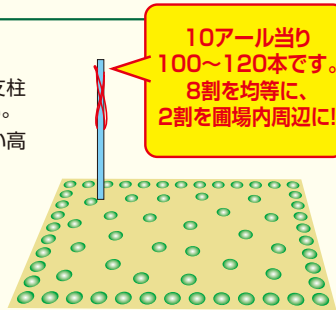
- 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。
- 生分解性の製剤なので、容器の残存問題が解消されます。

上手な使い方

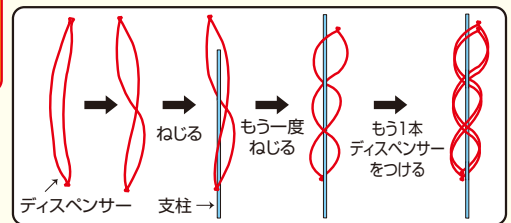
- 対象害虫(コナガ、オオタバコガ、ヨトウガ)が圃場へ飛び込む前に設置してください。
- 設置面積が広ければ広いほど、効果的です。

ツインチューブ製剤

- ①作物の生育に支障のないように支柱棒(竹など)を立て、支柱棒にディスペンサーを巻き付けて圃場に設置してください。
- ②設置する高さは作物により異なり、作物の生育に支障のない高さにしてください。
- ③ディスペンサーは10アール当り100~120本とし、そのほぼ8割程度を圃場内に均等に設置してください。残りの2割程度を圃場内周辺に設置すると効果的です。
- ④ディスペンサーを支柱等に取り付ける方法は色々ありますが、主な取り付け方法は右記の通りです。

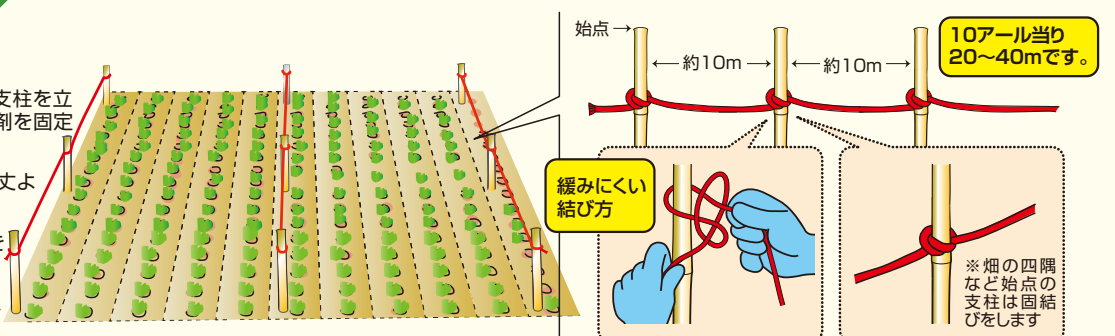


●網掛け法(ディスペンサー2本/1支柱の場合)



ロープ状製剤

- ①畑の周りに約10m間隔で支柱を立て、支柱の間にロープ状製剤を固定していきます。
- ②ロープ状製剤は、作物の背丈より上に張り渡してください。
- ③10アール当り20~40mを設置してください。
- ④支柱等への取り付け方法は、右記を参考にしてください。



コナガコン-プラスの登録内容

作物名	適用場所	使用目的	適用病虫害名	使用量	使用時期	使用方法
アロニア	アロニア栽培地帯	交尾阻害	リンゴヒメシクイ	100本/10a (22g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間	ディスペンサーを対象作物の枝に巻き付け、または挟み込み設置する
コナガ、オオタバコガ、ヨトウガが加害する農作物等	コナガ、オオタバコガ、ヨトウガの加害作物栽培地帯		コナガ オオタバコガ ヨトウガ	100~120本/10a (22g/100本製剤)		作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスペンサーを巻き付け固定し圃場に配置する。
コナガ、オオタバコガが加害する農作物等	コナガ、オオタバコガの加害作物栽培地帯		コナガ オオタバコガ	20~40m/10a (55g/50m製剤)		支柱を立てロープ状の製剤を対象作物の上部に張り渡す

使用上の注意事項

- 本剤は、コナガ、オオタバコガ、ヨトウガ及びリンゴヒメシクイ成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる密度抑制を目的としているので、対象害虫の成虫発生初期から収穫期まで連続的に比較的広範囲な地帯で使用することが望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤は支柱等に巻き付け(アロニアの場合は枝に巻き付け、または挟み込み)、対象地帯に均一になるように設置することが望ましいです。また、標準的な使用量は10アールあたり100~120本もしくは20~40mですが、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から

- 判断して、周辺部に多めに設置することが望ましいです。
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 設置の際、面積に応じてチューブを切断する場合は1m間隔でヒートシールされている部分を切断してください(ロープ状製剤の場合)。
- 本剤は生分解性のチューブを使用しているので、土壌に接しないよう使用してください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用直前に開封し、使い切ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

保管上の注意事項

- 火気を避け、直射日光が当たらない冷暗所(5℃以下)に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2022年12月現在の知見に基づいて作成されています。